

第6次産業への取り組み-複数システムの連携による価値構築-

日 時： 2015 年 11 月 7 日（土） 13 時 00 分-17 時 00 分
 会 場： 日本大学・経済学部 7 号館 9F 7091 室（最寄り駅：JR 水道橋駅から徒歩約 5 分）
 主 催： 横幹技術協議会、横幹連合、日本経営工学会西関東支部
 参 加 費： 横幹技術協議会会員企業の関係者、横幹連合会員学会の正会員、学生は参加無料、
 その他 2,000 円（資料代含む）。当日資料代：1,000 円（希望者のみ）
 参加申込：【事前登録】 オンライン申込 (http://www.trasti.jp/forum/forum46_kyg.html)

【企画趣旨】

最近、TPP 問題がマスコミで取り上げられており、日本農業への不安と期待が議論されている。また、この時流を受けて農林水産省に於いても「農山漁村の 6 次産業化」と称して、2 次産業・3 次産業を取り込み、複数の関連したシステムを活用して有機的・総合的結合を図り、1 次産業を振興して地域経済の再生を企画している。メーカーからは産業設備の転用や農業生産装置の提供といった複数システムの連携で、農水産業を含んだ新たな価値が構築される社会の建設への貢献となる機会と思われる。そこで、閉塞感のある日本の経済状況を打ち破るために、日本経営工学会西関東支部では、研究部会を立ち上げ第 6 次産業について経営工学の視点で検討してきた。

今回のフォーラムでは、6 次産業化への様々なトピックを取り上げて、各方面から専門家を講師として招き現状の課題の議論を深めていく講演会を企画するものである。なお今回は日本経営工学会西関東支部と共催とする。

【プログラム】

	(敬称略) 総合司会: 藤川 裕晃 (東京理科大学)
13:00-13:10 開会あいさつ	桑原洋 (横幹技術協議会会長)
13:10-14:30 ◆ 講演 1 「第 6 次産業の課題と複数システム連携による価値構築」	藤川 裕晃 (東京理科大学)
◆ 講演 2 「日本の農業の現状と提案〜コメが人類を救う」	尾ノ井 憲三 (元ヤンマー(株))
14:30-15:00 休 憩	
15:00-16:55 ◆ 講演 3 「第 6 次産業と ICT 活用」	堀川 三好 (岩手県立大学)
◆ 講演 4 「農産物の流通の在り方」	野見山 敏雄 (東京農工大学)
◆ 講演 5 「植物工場のエンジニアリング」	山中 宏夫 (大成建設(株))
16:55-17:00 閉会あいさつ	出口 光一郎 (横幹連合 会長)

横 幹 技 術 フォーラム

第 6 次 産 業 へ の 取 り 組 み - 複 数 シ ス テ ム の 連 携 に よ る 価 値 構 築 -

2015 年 11 月 7 日 (土) 13 時 00 分 - 17 時 00 分

【 講 演 要 旨 】

(敬称略)

講演 1

第 6 次 産 業 の 課 題 と 複 数 シ ス テ ム 連 携 に よ る 価 値 構 築

◆ 藤川 裕晃 (東京理科大学 経営学部 教授)

第 6 次 産 業 は、第 1 次 産 業 で あ る 農 業 に 第 2 次 産 業 の 工 業 や 第 3 次 産 業 の 商 業 の 技 術 を 活 用 し、海 外 か ら の 安 価 な 農 産 品 に 対 抗 で き る 様 に 強 化 し よ う と い う ア イ デ ア で あ る。つ ま り、第 6 次 産 業 は 農 業 に 工 業 生 産 の ノ ウ ハ ウ を 加 え て、更 に サ ブ ラ イ チ ェ ー ン 管 理 手 法 を 連 携 さ せ て 全 体 最 適 化 を 目 指 す 価 値 構 築 過 程 と も 言 え る。経 営 工 学 で も 取 り 組 み が 始 ま っ た 第 6 次 産 業 の 研 究 を 2 つ 取 り 上 げ 簡 単 に 報 告 す る と 共 に 今 後 の 取 り 組 み 展 開 に つ い て も 触 れ る。

講演 2

日 本 の 農 業 の 現 状 と 提 案 ~ コ メ が 日 本 を 救 う

◆ 尾ノ井 憲三 (元ヤンマー(株) 調達部長)

日 本 の 農 業 は 政 府 の 減 反 政 策 の も と で 米 の 収 量 が 年 々 減 少 し た。食 料 自 給 率 が 先 進 国 で も 最 低 レ ベ ル に ま で 下 が っ た。ま た、農 家 の 収 入 も 年 金 が な い と 成 立 不 可 能 な 状 況 に 追 い 込 ま れ て い る。そ こ で、日 本 の 主 食 で あ る コ メ を 取 り 上 げ、ア メ リ カ や 中 国 と 比 べ て 米 生 産 の 収 支 を 考 察 し、今 後 日 本 農 業 が 市 場 性 を 回 復 す る た め の 政 府 の 支 援 策 へ の 提 言 を す る。

講演 3

第 6 次 産 業 と ICT 活 用

◆ 堀川 三好 (岩手県立大学 ソフトウェア情報学部 准教授)

第 6 次 産 業 で の 業 務 改 善 の ツ ー ル と し て の ICT に スポ ッ ト を 当 て て、農 産 物 地 直 売 所 に お け る 在 庫 管 理 方 法 に ICT を 活 用 し た 事 例、協 調 型 サ ブ ラ イ チ ェ ー ン で の 業 務 改 善 例、酪 農 の 事 例 な ど に つ い て 説 明 す る。そ し て、今 後 の ICT の 第 6 次 産 業 で の 活 用 の 可 能 性 に つ い て も 言 及 す る。

講演 4

農 産 物 の 流 通 の 在 り か た

◆ 野見山 敏雄 (東京農工大学 農学部 教授)

TPP 交 渉 が 成 立 す る と 安 い 海 外 農 産 物 が 輸 入 さ れ、農 家 が 無 く な っ て し ま う と 言 わ れ て い る。ま た、最 近 「食 の 安 全 ・ 安 心」 の 重 要 性 が 叫 ば れ る 様 に な り、卸 売 市 場 経 由 で の 取 引 の 比 率 が 減 少 す る 一 方、ネ ッ ト で 農 家 か ら 直 接 宅 配 す る と い っ た 配 送 シ ス テ ム が 盛 ん に な っ て 来 た。ま た、地 産 地 消、ネ ッ ト ワ ー ク 型 産 直、農 産 物 の 産 地 形 成 な ど の 産 直 流 通 の 解 明 を 通 し て 農 産 物 流 通 の 現 状 と 今 後 の 展 望 に つ い て 言 及 す る。

講演 5

植 物 工 場 の エ ン ジ ニ ア リ ン グ

◆ 山中 宏夫 (大成建設株式会社 エンジニアリング本部 シニアエンジニア)

農 業 生 産 の 工 業 化 と 言 え ば 植 物 工 場 が 挙 げ ら れ る。ビ ジ ネ ス が 生 産 法 人 を 設 立 し て 植 物 工 場 で の 農 業 生 産 に 参 入 が 相 次 い で い る。し か し、実 情 は そ ん な に 簡 単 で は な い。LED 照 明、自 動 種 ま き 機、溶 液 制 御 機 構 な ど の ツ ー ル を 如 何 に 利 益 の 出 る 事 業 に エ ン ジ ニ ア リ ン グ で き る か を 概 説 す る。建 設 会 社 の エ ン ジ ニ ア リ ン グ 部 門 で の 植 物 工 場 の い く つ か の プ ロ ジ ェ ク ト 経 験 を も と に 報 告 す る。

< 第 46 回横幹技術フォーラム 参加申込書 >

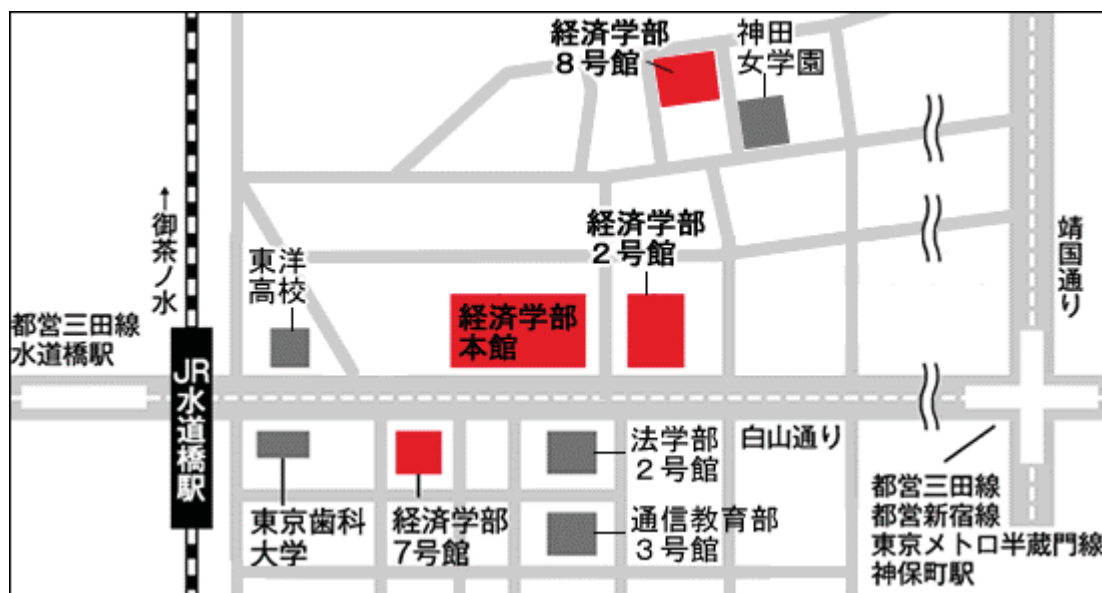
1.お名前： _____ 2.ご所属： _____

3.電子メール： _____ 4.TEL： _____

5.参加区分：※該当するものに○印をつけてください。

- (a) 横幹技術協議会会員企業の関係者 (b) 横幹連合会員学会の会員 (学会名： _____ 学会)
(c) 学生 (d) その他

交通案内



以上